

## 2023年 辰川会グループ忘年会

12月14日、4年ぶりとなる辰川会グループ全体での忘年会を行いました。開会に先立ち、辰川匡史CEO自ら、辰川会グループのゆるキャラ「ともにゃん」の着ぐるみでサプライズ登場し、驚きと大歓声の中スタートしました。そ

の勢いのままに、最初から最後まで笑顔の絶えない賑やかな忘年会となり、参加した職員は久しぶりの交流を楽しんでいました。最後は、2024年も良い年になるようにとの願いを込め、全員の一本締めで締めくくりました。



## おひさま保育園 クリスマス会



12月22日、リンリンリーンと鈴を鳴らしながらサンタクロースが来てくれました♪初めて会うサンタさんに涙目の

子もいましたが、ハグやハイタッチなどたくさん触れ合っ、最後にサンタさんからプレゼントをもらいました。



## 赤ちゃんが誕生しました★

山陽腎クリニック  
臨床工学技士 鈴木さん  
2023年4月出産 第2子(男)

山陽病院  
事業本部 甲斐さん  
2023年11月出産 第2子(女)

## 理事長サンタ登場！

12月23日、今年も辰川匡史理事長がサンタクロースに変装し、山陽病院の病室に登場しました！一足早いクリスマスプレゼントに入院患者様やご家族様も喜ばれていました♪



# ふれあい

「グループ理念」ともに歩む、ともに生きる



136  
2024.1発行  
TAKE FREE  
辰川会 広報誌

## 第24回 辰川会グループ研究発表会

山陽病院 栄養科 管理栄養士 奥原未紗紀



10月29日、心地よい秋晴れの中、辰川会グループ研究発表会が福山すこやかセンターで開催されました。今年度は医療事業部から7題、介護事業部から2題の発表がありました。

病院1階待合室で配信していますので、ぜひご覧ください。

特別講演では、TNサクセスコーチング株式会社 代表取締役 奥山美奈先生から、「医療者と介護者にとって必要なコミュニケーションスキル」について学びました。コロナ禍を経て、制限されていたコミュニケーションの場面が再開してきているので、コミュニケーションのスキルアップが欠かせません。今回の研究発表を通して学んだことを生かして取り組んでまいります。

	演題	所属	発表者
最優秀賞	はじめてみませんか？すぐできる減塩テクニック	山陽病院 栄養科	奥原未紗紀
優秀賞	安全かつ確実な服薬方法の確立にむけて～簡易混濁法の施行導入で見えた課題～	山陽病院 リハビリテーション科	河野恵梨
努力賞	透析中運動療法の取り組みと効果について	山陽腎クリニック	藤谷牧子
努力賞	ユマニチュード技法により食事が全量摂取できるようになった1例	山陽病院 3階病棟	川崎莉央
努力賞	連携により閉塞を回避できた内シャントの1例	山陽病院 医局	毛利教生

## 「グループホームおひさま」増築工事

管理者 村上里江

3月の完成に向けて、昨年の7月から始まった増築工事もいよいよ佳境に入りました。これまで長きにわたりご協力いただきました地域の皆さま、ありがとうございました。



ただいま、グループホームでは3ユニット目の外装工事が終わり、内装工事に取りかかっています。家具等を揃え準備しているところです。ユニット名は「なぎさ」です。  
2月20日に完成し、3月1日オープン予定です。新しい出会いを、スタッフ一同楽しみにしています。

グループホームおひさま 〒720-0816 福山市地吹町13-28 TEL 084-959-3441

辰川会グループ

【医療法人辰川会】  
山陽病院 外科/内科/泌尿器科/整形外科/リハビリテーション科  
〒720-0815 福山市野上町2丁目8番2号 Tel (084) 923-1133(代) Fax (084) 923-1158  
山陽腎クリニック 人工透析外科/人工透析内科  
〒720-0815 福山市野上町1丁目7番8号 Tel (084) 928-5500(代) Fax (084) 928-5535  
山陽ぬまぐま腎クリニック 透析外科/透析内科/外科/内科  
〒720-0311 福山市沼隈町早家2031-1 Tel (084) 980-0034(代) Fax (084) 987-3450

【社会福祉法人さんよう】  
特別養護老人ホームくさど  
〒720-0831 福山市早戸町5丁目8番24号 Tel (084) 973-9911(代) Fax (084) 928-9988  
特別養護老人ホームしんがい  
〒721-0965 福山市新道町3丁目19番27号 Tel (084) 961-3955(代) Fax (084) 9261-3950  
特別養護老人ホームひかり  
〒720-0831 福山市早戸町3丁目6番1号 Tel (084) 961-3480(代) Fax (084) 961-3484

## 第1回 さんようスタンプラリー開催

山陽腎クリニック 臨床工学技士 主任 佐野優子

12月10日、山陽腎クリニックとデイサービスさんさん山陽を会場に、透析患者様向けのスタンプラリーを開催しました。このイベントは、辰川会グループの職員が透析治療に役立つ知識や情報を紹介しながら患者様やご家族との交流を深めようと、今回初めて企画したものです。

当日は、栄養管理や味覚についてのクイズ、減塩便利グッズの紹介、体重管理のコツなど、楽しみながら学べるコーナーや、生活で困っていることを相談できる介護相

談などを設け、各コーナーを訪れた方にスタンプを押して記念品を贈呈しました。どの方も興味深そうに回ってくださり嬉しく思いました。

コロナ禍では長い間、患者様との交流の機会が制限されていましたので、久しぶりにゆっくりとお話することができ、職員にとっても充実した時間となりました。多くの患者様やご家族様からもご好評をいただきましたので、来年も開催する予定にしています。第2回も、ぜひ楽しみに！



左上から: 全体の様子、栄養クイズ、味覚クイズ、減塩便利グッズ紹介、左下から: 体重管理のコツ、体力測定、介護相談、輪投げ

## 第8回 霞学区認知症ひとり歩き高齢者声かけ訓練

福山市地域包括支援センター野上 認知症地域支援推進員 福江安代

認知症と思われる人が歩いている時、あなたはどうしますか？

12月2日に霞学区で「認知症高齢者ひとり歩き声掛け訓練」を行いました。当日は霞学区の住民の方を中心に約70人が参加し、辰川会グループからも包括野上職員をはじめ、山陽病院の看護師も参加しました。

訓練では、グループに分かれて高齢者役に声掛けし、会話をして安心させながら警察や包括支援センターなどに繋ぐまでをシミュレーションしました。参加者の中には、

実際にひとり歩きをしている認知症の方に声を掛け、保護をした経験がある方もいました。このように訓練が実を結んでいることを知り、主催者の1人として励みになりました。

全国の認知症による行方不明者数はここ10年で2倍に増加し、社会問題となっています。声掛けは躊躇してしまうものですが、みなさんの勇気ある行動で救われる命がありますので、認知症と思われる人が歩いている時には、勇気を出して声を掛けていただきたいです。年齢問わず安心して暮らせる地域づくりができればと思います。



## 山陽腎クリニックの取り組み シリーズ ②

山陽腎クリニック 看護師長 松岡幸則

山陽腎クリニックがここ数年力を入れている取り組みを、ご紹介しています。今回は血液ろ過透析(HDF)療法についてでした。今回は、透析患者様の足トラブルを予防するフットケアについてのお話です。

透析患者様の足は、動脈硬化や末梢血管障害によって血液の循環が悪くなり、足の冷え・しびれ・痛み等、さまざまな症状が生じることもあります。さらに、小さな傷が悪化して足の切断に至ることもあります。このような足トラブルを回避するために、山陽腎クリニックではフットケアに力を入れています。

フットケアの1つに血行を促す「炭酸ガスミスト法」があります。これは、透析中に患者様の足にビニールブーツを被せて、ブーツ内に炭酸ガスミストを充満させるものです。

これにより、水分と一緒に炭酸ガスが皮膚にあたり、毛穴から吸収されて足の血流が良くなります。実際に炭酸ガスミスト法をされた患者様からは、「足先の血色が良くなった」、「足先が温かくなった」と多くの喜びの声をいただいています。患者様の大切な足を守るために、月1回の足チェックや足のケアが必要な患者様にフットケアを行っています。患者様も普段から足に傷を作らないよう気をつけるとともに、しっかりと足の状態を観察していただけたらと思います。今回は運動療法の「腎臓リハビリテーション」についてご紹介します。



## 2023 APSDA(アジア透析医学会)

医局 外科部長 毛利教生

10月22日から24日の3日間、オーストラリアのケアンズで開催されたアジア透析医学会に参加し、発表を行いました。

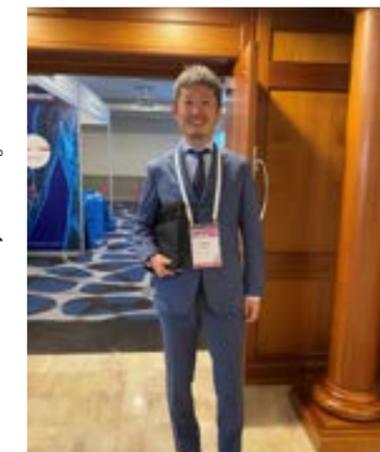
私はこれまでも、アメリカやヨーロッパ各国の学会で発表をしたことがあります。そのため以前は英語の勉強にも力を入れていたのですが、コロナ禍で海外に行く機会が失われ、英語力の低下を感じていました。発表自体は原稿を作成し、繰り返し練習すればなんとかなるのですが、質疑応答はどんな質問が出るかわからないため、毎回冷汗をかきます。しかし、国の文化の違いがありながらも、透析という同じ分野で頑張っている先生と交流できることは、本当に良い経験となり、明日からの診療の力となります。

今回は、「心音図デバイスを用いたシャント音の評価」という演題で、透析患者様の血管を守る方法について発表しました。海外の方の反応も気になるところでしたが、日本から参加していた他院の先生が、私の紹介した機器にもともと興味があったようで、交流が深まりました。海外だ

からこそ、日本人同士で絆が生まれたような気がします。

ちなみに今回は、時間の都合で乗り継ぎ時間が短く、移動が大変で、発表以上に冷や汗をかきました。それでも、学会の合間にグレートバリアリーフを訪れることができ、サンゴ礁のあまりの美しさに感動しました。このように非日常に触れることができるのも、海外の学会に参加する醍醐味の1つです(趣味のランニングも欠かさず、毎朝ケアンズの街を走りました)。

新しい知識の習得はもちろんのこと、気持ちのリフレッシュもしっかりできました。また日々の診療に尽力してまいります！



### 外部発表

第27回 福山医学祭 11/12 福山市医師会館

- ・アクセス閉塞に対する治療戦略～適切な治療、血栓閉塞させない取り組み～(口演発表)
- ・胸部X線画像に対する肺結節影検出支援AIの導入報告(口演発表)

医局 外科部長 毛利教生  
山陽病院 診療放射線技師 砂田明俊

第27回 日本透析アクセス医学会学術集会・総会 11/18-19 富士ロゼシアター

- ・アクセス閉塞に対する治療戦略(適切な治療、血栓閉塞させない取り組み)(口演発表)
- ・バルンのサイズアップによりVAIVT間隔は延長できるか(口演発表)

医局 外科部長 毛利教生  
医局 外科 渡辺浩志

第32回 中国腎不全研究会学術集会 12/3 広島コンベンションホール

- ・当院における動脈表在化エコー下穿刺の取り組みについて(ポスター発表)
- ・透析患者に塩味感度テストを実施して(ポスター発表)

山陽腎クリニック 臨床工学技士 井本琢也  
山陽腎クリニック 看護師 金城研大